

## EUSI メールマガジン Vol. 006 シュヴァイスグート大使 新「一橋講堂」祝辞

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)  
[http://eusi.jp/content\\_jp/aboutus/about\\_eusi/](http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/)

### 【EUSI イベント報告 シュヴァイスグート大使・新「一橋講堂」発足式典祝辞】

EUSIは3つの大学によるコンソーシアムです。このうち、慶應義塾大学は三田キャンパスに、津田塾大学は千駄ヶ谷に従来からホールを持っており、シンポジウムなどに活用されてきました。

これに対し、一橋大学には、国立キャンパスに兼松講堂という歴史ある講堂がありますが、やや都心から離れているという面もありました。

今般、一橋大学が、都心の学術総合センター内にある講堂などを購入し、新「一橋講堂」と名付けました。この地には、1930年まで一橋大学の前身である東京商科大学のキャンパスがあった、ゆかりの地でもありました。

新「一橋講堂」はこれまで通り学術活動などに開放される一方、一橋大学の都心における拠点として活用されることが期待されています。特に、皇居、東京駅、各国大使館に近い地の利を生かし、海外からの研究者やゲストによる講演会などを積極的に行う場所となるでしょう。

以上のような経緯から、EUSIを通じ一橋大学と関係の深い駐日欧州連合代表部 ハンス・シュヴァイスグート大使に、新「一橋講堂」発足記念式典で祝辞をお願いすることになりました。

5月23日に行われた同式典では、一橋大学管弦楽団による演奏、山内進一橋大学長による講堂の歴史と沿革を含む式辞、伊賀健一東京工業大学長の祝辞に続き、シュヴァイスグート大使が登壇されました。

オーストリア出身のシュヴァイスグート大使は冒頭、ウィーンの音楽が演奏されたことに謝意を示されました。次に、一橋大学が今回、縁の深い地に戻ってきたこと、欧州と日本の大学・研究施設は、共に歴史を重んじると同時に、これを踏まえて新たな進歩を目指すという意識を共有していることに言及されました。さらにこの講堂が、EUSIなどの活動を通じ、EUと日本の研究・学術協力に貢献することに期待を示されました。

今回、新「一橋講堂」講堂が誕生するまでには長い歴史的な背景があり、建物の一部を購入するなど事実関係がやや複雑な面もありました。しかし、同大使はこうした歴史的な経緯を十分理解した上で、将来への展望を示されたといえます。

ハンス・シュヴァイスグート大使、及び今回の御出席が実現するまでご尽力頂いた駐日欧州連合代表部の皆様に、改めて感謝いたします。

(下記 URL には当日の様子について写真が掲載されています)

[http://eusi.jp/content\\_jp/outreach/report-outreach/20120523\\_hitotsubashi.html](http://eusi.jp/content_jp/outreach/report-outreach/20120523_hitotsubashi.html)

林秀毅(EUSI メールマガジン編集担当)

### 【EUSI イベントご案内】

EUSI 主催のイベントはありませんが、EUSI 主任研究員が報告するイベント及び駐日欧州連合代表部・欧州委員会主催のイベントのご案内が届きましたので、ご紹介いたします。

#### 日本経済研究センターセミナー「ユーロ危機再燃の行方」

中空麻奈 (BNP パリバ証券クレジット調査部長)  
林秀毅 (日本経済研究センター特任研究員、EUSI 主任研究員)  
前田昌孝 (日本経済研究センター主任研究員)  
7月18日(水) 13:30-15:00  
日本経済新聞社東京本社ビル 6階セミナールーム2  
<http://www.jcer.or.jp/seminar/tokyo/index.html#201207>

#### 第14回日・EUシンポジウム

「若者のエンプロイアビリティの向上と労働市場参入の促進」  
小杉礼子((独)労働政策研究・研修機構統括研究員)  
ピエトロ・ガリバルディ(トリノ大学経済学部教授)  
7月18日(水) 10:15-17:40  
駐日欧州連合代表部 ヨーロッパハウス  
厚生労働省・欧州委員会・駐日欧州連合代表部主催  
<http://japan-eu-sympo.jtbcom.co.jp/>

### 【EU に関するニュース】

- 2012年6月17日 ギリシャ再選挙、緊縮財政推進派の新民主主義党(ND)が勝利。緊縮派政党が過半数を獲得
- 2012年6月17日 仏国民議会選挙決選投票、全577議席中、社会党ら左派が343議席を獲得し圧勝(改選前195議席)
- 2012年6月17日 オランダ仏大統領、「欧州成長協定」案を加盟国に提示と報道。1200億ユーロ規模の経済成長案
- 2012年6月18日 G20首脳会議開催(メキシコ)。金融安定化・財政再建・経済成長・雇用創出などを協議
- 2012年6月18日 E3+3(欧州3カ国(英仏独)+米ロ中)、モスクワでイランと核開発問題に関して協議
- 2012年6月18日 欧州委員会、「デジタル・アジェンダ」年次評価報告書を発表
- 2012年6月18日 Eurostat、2010年度EUエネルギー総消費量内の再生可能エネ比率が12.4%と発表。前年より拡大
- 2012年6月19日 欧州委員会、人身売買撲滅のための40の新施策をまとめた戦略文書(2012-2016年)を採択
- 2012年6月20日 ゲオルギエヴァ欧州委員(人道援助担当)、対シリア難民人道援助を1000万ユーロ増額と発表
- 2012年6月20日 Eurostat、EUのGDP発表。EU平均100に対し、最高はルクセンブルクの274、最低はブルガリアの45
- 2012年6月20日 財務省、2012年5月貿易統計発表(速報値)。日・EU間の貿易収支は-111億円で、初の赤字へ
- 2012年6月21日 ユーログループ財務相会合、スペイン銀行支援策・ギリシャ情勢・キプロス債務問題などを協議
- 2012年6月21日 ギリシャでサマラス新内閣発足。全ギリシャ社会主義運動(PASOK)と民主左派の二党が閣外協力
- 2012年6月21日 欧州議会国際通商委員会、偽造品取引防止協定(ACTA)批准を否決。7月3日欧州議会本会議も否決
- 2012年6月21日 欧州委員会、外国投資家とEU加盟国との間の紛争処理のための共通枠組を採択

- 2012年6月22日 仏独伊西4カ国首脳会談、ローマで開催。財政規律と経済成長推進では合意も、共同債では対立
- 2012年6月22日 EU 経済金融理事会、加盟国各国の財政措置と経済改革のための包括的・具体的政策提言書を採択
- 2012年6月22日 EU 財務相理事会、ハンガリーの財政再建を評価、同国向けの EU 結束基金拠出停止措置を解除
- 2012年6月25日 EU 外務理事会、人権と民主主義に関する戦略的枠組と行動計画を採択
- 2012年6月25日 スペイン及びキプロス両政府、EU に対して金融支援を正式に要請
- 2012年6月26日 ファン＝ロンパイ、バローゾとドラギとユンケルと共同で、「真の EMU に向けて」報告書を作成
- 2012年6月26日 メルケル独首相、ユーロ共同債構想について「私が生きている間にはあり得ない」と強く否定
- 2012年6月27日 仏独首脳会談開催。翌日からの欧州理事会前に最終意見調整
- 2012年6月27日 ユーログループ財務相緊急電話会合、スペイン・キプロス支援に関して協議
- 2012年6月27日 EU・ベトナム、パートナーシップ協力協定(PCA)調印。両者間 FTA 交渉を正式開始
- 2012年6月27日 欧州委員会、ガス絶縁膜開閉装置に関するカルテルで三菱電機・東芝に制裁金賦課を決定
- 2012年6月27日 欧州委員会と日米政府、中国のレアアース輸出規制について WTO に紛争処理小委員会設置を要請
- 2012年6月27日 欧州一般裁判所、欧州委員会によるマイクロソフト社への競争法違反制裁金課金を支持する判決
- 2012年6月27日 韓国貿易協会とビジネス・ヨーロッパ、EU・韓国 FTA 発効1周年に向け、官民経済協力会議を開催
- 2012年6月28-29日 欧州理事会、銀行監督一元化(ECB)の年内合意や、総額1200億ユーロの成長・雇用協定を採択
- 2012年6月29日 ユーロ圏首脳会議、一定条件下での ESM による直接銀行資本注入・国債買支えなどで合意
- 2012年6月29日 モンテネグロ EU 加盟協議開始。現・加盟候補国ではトルコ、アイスランドに続き3番目の加盟協議

### 【編集後記】

6月28日・29日に開催された EU・ユーロ圏首脳会合では、「銀行同盟」など踏み込んだ決定がなされ、7月5日には ECB が政策金利を 0.25%引き下げ、0.75%としました。しかしその効果は一時的であり、ユーロ圏国債の利回りは再び、上昇傾向にあります。  
今後7-8月は、スペインの銀行セクター救済策の早急な具体化、8月の国債償還を抑えたギリシャの債務再編協議などの行方に、一喜一憂する展開が続くことになるでしょう。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

欧州や EU に関する動きはやはり経済や EURO が圧倒的に多いなか、ここに来て最近では、文化的にも大きな出来事がいくつかありました。

ひとつはご存知、もうひとつの「EURO」----そう、サッカー欧州選手権です。スペインが圧倒的な強さで優勝！初の連覇を成し遂げました。スペインやイタリアやポルトガルなど、債務危機に苦しんでいる欧州の国民にも勇気と希望を与えたことと思います。

もうひとつは、欧州合同原子核研究所(CERN)が先日発表した「ヒッグス粒子」とみられる粒子の発見です。質量の解明に向けて大きなブレイクスルーとなる素粒子学上の偉大な発見と、欧州を拠点とした人類の叡智に敬意を表します。欧州は欧州研究会議(ERC)を中心に、米国やアジアと並んで世界をリードする優秀な人材を集めていますが、日本からも欧州にて世界的に最先端の研究を成し遂げる人材が出てくることを切に願っています。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

---

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての  
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: [info@eusi.jp](mailto:info@eusi.jp)

---